

AI を活用するための 6 つの優先課題

多くの企業幹部は、人工知能(AI)にはビジネスの仕組みを抜本的に変える力があると感じています。しかしその一方で、多くの企業幹部は、AI をさまざまな業務領域で試験的に導入するだけでなく、全社的にどう導入すればいいのかわ、また、どこに導入すれば最大限の価値を生み出せるのかわ理解していません。これまで進展と停滞を繰り返し、なかなか導入が進まなかった AI ですが、2019 年は一気に動きが加速することになるでしょう。

調査対象

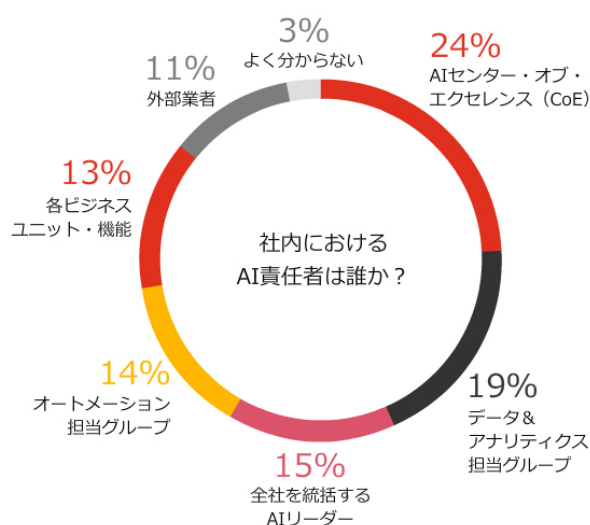
- AI に精通した米国管理職 1,001 人
- 42% 社長、CxO、またはパートナー
- 74%、売上高 10 億ドル+

1. 運用管理体制: スモールスタートから利益を確保し、拡大展開を図る

AI の活用を本格化するなら、今がそのタイミングです。主要企業は、すでに AI を実証実験段階から実用段階に移行させ始めています。今後、意思決定の高度化が図られ、業務のあらゆる場面で将来予測的なインテリジェンスを人々に提供できるようになるでしょう。AI 導入を真剣に考えているのであれば、アプローチを明確に形式化し、全社的な能力(ケイパビリティ)の開発に取り組むべきです。そうすることで、成功した(比較的小規模な)プロジェクトを複製し、組織全体に組み込んでいけるようになります。

2. 従業員: AI シチズンと AI スペシャリストを協働させる

AI は民主化が進んでいますが、それでもまだ非常に複雑です。訓練を受けた AI スペシャリストでも間違いを犯す可能性があります。AI シチズン、AI スペシャリスト、およびデータサイエンティストの適切な組み合わせを開発し、それらが共同作業を支援するためのツール、トレーニング、およびインセンティブを提供することが必要です。



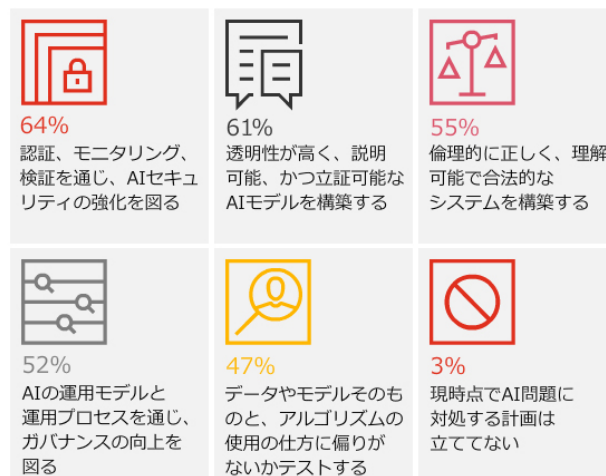
出典：PwC 2019年AI予測
 回答者数：1,001人
 Q：2019年はAIの導入と統制をどのように行いますか？

56% の企業が、人員計画を策定し、AI 導入に伴い必要となる新たなスキルや役割の明確化を図る。

3. 信頼性: AI をあらゆる面で信頼できるものにする

顧客も、従業員も、取締役会も、規制当局も、取引先も、「AI を信頼していいのだろうか？」という、同じ質問を投げかけてきます。それを肯定的に答えるためには、公平性、解釈可能性、堅牢性とセキュリティ、ガバナンス、そしてシステム倫理に対する説明責任を割り当てる必要があるのです。

AIの責任ある運用へのステップ



出典：PwC 2019年AI予測
 回答者数：1,001人
 Q：信頼性、公平性、安定性に優れた責任あるAIシステムの開発と導入に向けて、2019年はどのようなステップを踏む予定ですか？

4. データ:機械学習のためのデータを見つけ、ラベル付けする

データからビジネスに関する洞察を得られるよう、AI システムとアナリティクスシステムを統合することが、AI 関連データをめぐる 2019 年の最優先課題であることが明らかになりました。AI はデータやアナリティクスと組み合わせると、効果的なリスク管理、従業員による適切な意思決定、顧客関連業務の自動化など、さまざまな目的に活用できます。

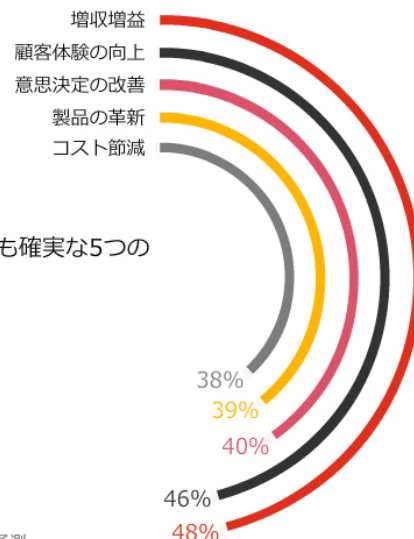
5. 再構築:パーソナル化と質の向上で AI を収益に結び付ける

AI による増収増益は遠い夢ではありません。AI の力は、企業が高品質のパーソナライズされたデータ駆動型の製品やサービスを作成して販売するのに役立ちます。企業は AI を使用して戦略を支援し、新しいビジネスモデルを發明し、そして最終的には組織を変革することができるのです。

6. 融合: AI をアナリティクス、IoT などと組み合わせる

AI は、アナリティクス、ERP、IoT、ブロックチェーン、そして、いずれは量子コンピューティングのような他のテクノロジーと統合されることで、さらに大きな威力を発揮します。先端テクノロジーはいずれも、融合することで最も大きな力を発揮します。

29% が、データのラベル付け、標準化、および統合を 2019 年の優先事項としています。



AIの収益化：最も確実な5つの投資回収方法

出典：PwC 2019年AI予測
回答者数：1,001人
Q：AI投資にどのような効果を期待しますか？一番期待するものから順に3つ選んでください。

36% が、AI と他のテクノロジーとの融合を管理することが 2019 年の優先事項であると答えています。

Next Steps

✓ AI チームを作る

AI、IT、中核ビジネスを担当するリーダーを体系的に集め、優先課題、データ戦略、リソース、ユースケースを管理しましょう。

✓ 信頼できる一元化した情報源の整備

セルフサービス型ツールと、協働のための仮想環境を備えたデジタルプラットフォームが、ビジネス上の問題と AI ソリューションを結び付ける手助けをします。

✓ AI 基礎的要素の構築

AI を 1 つのプロセス全体に適用しようとするのではなく、社内全体に共通する特定の作業に着目して再利用可能な AI ソリューションを開発しましょう。

Data & Analytics / AI に関するお問い合わせ

PwC コンサルティング合同会社
〒100-6921 東京都千代田区丸の内 2-6-1
丸の内パークビルディング
Tel: 03-6250-1200 (代表) E-mail: pwcjpr@jp.pwc.com
<https://www.pwc.com/jp/data-analytics>

